

神戸大学医学部附属病院市民公開講座

がんに関する最新の 治療と緩和ケア

日時

平成29年9月18日（月）
13：30～15：30（開場12：30）

会場

神戸大学医学部附属病院
シスメックスホール
[神戸市中央区楠町7丁目5-2]



主催

神戸大学医学部附属病院
（地域がん診療連携拠点病院機能強化事業）

共催

神戸大学大学院医学研究科がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン
神戸新聞社

後援

兵庫県医師会、神戸市医師会、兵庫県がん診療連携協議会
公益社団法人 日本臨床腫瘍学会
特定非営利活動法人 近畿がん診療推進ネットワーク



神戸大学医学部附属病院 市民公開講座 —がんに関する最新の治療と緩和ケア—

神戸大学医学部附属病院マスコット
くすのきファミリー



★シスメックスホールのご案内

- ・座席右側にテーブルが収納されていますので、ご利用ください。
- ・会場内での飲食はご遠慮いただきますようお願いいたします。
- ・お手洗いはホールの階（3階）にはございませんので、2階をご利用いただきますようお願いいたします。

★プログラム

12:30 …… 開場

13:30 …… 開会 司会 **南 博信**
(神戸大学大学院医学研究科内科学講座
腫瘍・血液内科学分野 教授)

13:35 …… 講演① **「肺がんの治療革命
～変わる治療法、広がる選択肢～」**
立原 素子
(神戸大学医学部附属病院 呼吸器内科 助教)

14:30 …… 講演② **「がんどう付き合うか
～がん患者の気持ちの持ち方・家族としての患者の接し方～」**
酒見 惇子
(神戸大学医学部附属病院 がん相談室 臨床心理士)

15:30 …… 閉会

★講演①「肺がんの治療革命

～変わる治療法、広がる選択肢～



立原 素子 (たちばら もとこ)

(神戸大学医学部附属病院 呼吸器内科 助教)

日本人の死因のトップはがんですが、死亡第一位のがんは、肺がんです。毎年、7万人以上の方が亡くなっています。肺がんの原因の最多はタバコですが、喫煙していなくても肺がんになることがあり、その原因は遺伝子変異であることもわかってきています。

肺がんと言われたら、どのような治療法があるのでしょうか。現在、肺がん治療には従来の手術・放射線治療・化学療法に加えて、新しく免疫療法が行われるようになり、肺がん治療にはますます有効な治療の方法が増えています。また、肺がんの特性や遺伝子変異など、患者さんひとりひとりにあわせて薬を使い分ける「層別化治療」が進んでいます。

今回の市民公開講座では、進歩している肺がん治療のうち、化学療法・免疫療法について分かりやすくお話ししたいと思います。肺がんを正しく知って、肺がん治療と向き合しましょう。

★講演②「がんどう付き合うか

～がん患者の気持ちの持ち方・家族としての患者の接し方～



酒見 淳子 (さかみ あつこ)

(神戸大学医学部附属病院 がん相談室 臨床心理士)

自分が、がんと分かったときどうしますか？どうしましたか？
もし家族が、がんになったらどのような心境になるでしょう。
がんと分かったときの衝撃、治療への不安、治療後の気がかりなど、がんにかかると、体だけでなく、心にも大きな負担がかかります。これまでの生活が一変してしまい、悩んでいる方も少なくありません。悩みを抱え、不安を感じるのは、特別なことではありません。

今回はがんがこころに与える影響についてお話します。こころの変化を理解することで、自分の気持ちに気づき、自分らしいがんとの付き合い方を見つけていただくきっかけになればと思います。

また、がんの闘病中は、患者さん同様、患者さんを支える人にも大きなプレッシャーがかかります。特にご家族は、患者さんとの接し方に戸惑ったり、患者さんを支えることに一生懸命で自分のこころについて考える余裕がなくなったりします。大切な人を支えるためにご家族に知っておいていただきたいポイントについてもお話ししたいと思います。